

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン海老名中央新築工事	階数	地上14F
建設地	海老名市中央3丁目1446番1	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	170人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2014年1月24日
敷地面積	950 m ²	作成者	株式会社トータルブレイン
建築面積	451 m ²	確認日	2014年1月24日
延床面積	4,430 m ²	確認者	株式会社トータルブレイン



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
全面的にF 建材を採用する等、室内環境に対して配慮を行った	建材に耐用性の高いものを採用し、サービス性能に対して配慮を行った	可能な限り植栽を設置する等、敷地内環境に対して配慮を行った
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電を採用する等、エネルギーへの配慮を行った	節水型器具の採用等、資源に対して配慮を行った	光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たす等、敷地外環境に対する配慮をおこなった

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される